

開催概要

テーマ「外国人県民が日本で働くということ」

日本一の産業県である愛知県では、少子高齢化による労働の担い手不足等を背景に、今後も外国人労働者の方が増加することが見込まれます。外国人県民の皆様がこの地域で働き、生活するとき、どんな課題があるでしょうか。外国人県民の就労を支える2団体のお話を聞き、現状や課題について考えました。

日時: 2022年6月25日(土)14:00~16:30

場所: あいち国際プラザ アイリスルーム

当日の流れ

1 事例報告

①愛知商工連盟協同組合 国際事業部技能実習監理課 莫 暁雪 氏

②協栄産業株式会社 会長 大島 良和 氏

2 ワークショップ

1 事例報告

基調報告では、外国人の就労と地域での生活を支える2団体に、取組内容や課題等についてご報告いただきました。

①愛知商工連盟協同組合

国際事業部技能実習監理課 莫 暁雪 氏

愛知商工連盟協同組合は、経営・労務・企業会計等、中小企業の総合コンサルタントとして1973年に設立しました。組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員の経済活動をサポートし、経済的地位の改善と向上を目指していま



す。2003年に外国人技能実習生の受入を開始し、2017年からは一般監理団体として技能実習生監理業務を行う。2021年度には愛知県作成の「新たに来日した外国人就労者に対する早期適応研修カリキュラム」を活用した研修の実施等、実習生を支え、実習生と受入企業との懸け橋となる取組を行っています。



②協栄産業株式会社

会長 大島 良和 氏

協栄産業株式会社は、丹羽郡大口町に本社工場を構え、自動車部品の製造を手掛ける。1990年頃から外国人従業員を雇用し始め、全従業員のうち、約半数を外国人従業員が占めており、外国人従業員も会社の担い手として日本人従業員と区別しない方針としています。

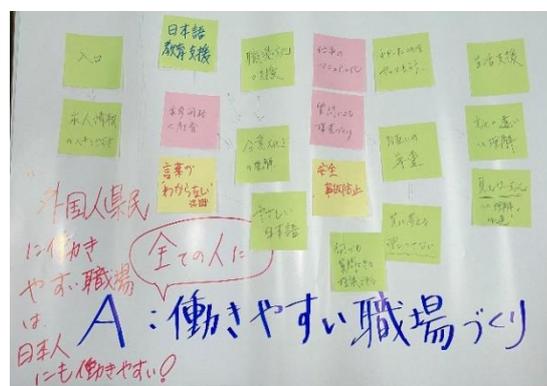
全従業員で会社の経営ビジョンを共有し、各自の目標や行動指針を自ら設定する取組を行うほか、菜園での共同作業等でコミュニケーションを図り、働きやすい環境づくりを行っています。

2 ワークショップ

ワークショップでは、2グループに分かれ、外国人県民の就労や生活に関する支援、地域社会との交流などに関する課題と対応策について、それぞれテーマを元に意見交換を行いました。ワークショップの最後には、発表を行い、県が取り組むべき施策等について、様々なアイデアを出していただきました。

A グループ:働きやすい職場づくり

- ・外国人の方の受入を行っていることを求人情報に明文化し、分かりやすくする
- ・各業界の専門用語や職場文化を知ってもらうことなどを踏まえた日本語の学習支援
- ・やさしい日本語の活用
- ・仕事をマニュアル化し、仕事のポイントをしっかりと説明できる体制づくり
- ・質問・相談しやすい環境づくり
- ・互いの文化を知り、尊重し、共に考えながら職務に取り組むことで、日本人にとっても外国人にとっても働きやすい職場につながる



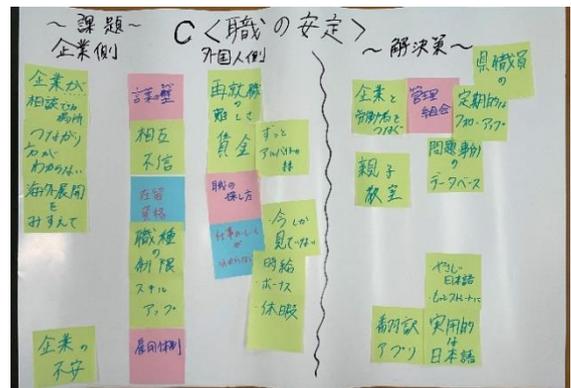
B グループ: 労働現場における日本語・文化への理解

- ・日本人側も他国について知ることが重要であるので、企業が、他国の文化等を学ぶ場をつくる
- ・ランチタイムや休日の時間なども活用し、日常的なふれあいを通じた互いの文化などの理解促進
- ・働いている人の多文化理解の教育に係るノウハウの共有や金銭面の支援を行政が行う
- ・行政が企業や住民がお互いに情報交換できる場を設ける
- ・国籍を問わず、同じ社員であるという意識を醸成することにつなげていく



C グループ: 職の安定

- ・働く外国人と企業をつなぐ役割が必要
- ・行政が外国人を雇用した企業等に対して、定期的な相談やヒアリングなどのフォローアップを行う
- ・外国人を雇用するにあたり発生した問題とその解決事例のデータベース化
- ・やさしい日本語を活用し、婉曲的な分かりづらい表現を使用せず、シンプルな表現を心がける
- ・翻訳アプリの活用や職場等で使う実用的な日本語を学べる場をつくる



D グループ: 新たに来日した外国人材への生活オリエンテーション

- ・病院で医療通訳が活用できるように更なる環境の整備
- ・愛知県が作成した早期適応ガイドブックの活用
- ・ゴミ捨て等自治体間でのルールの一統
- ・勉強をした先にメリットがあるような日本語教育の実施やそういった取組への行政による補助金等の支援
- ・外国人の方が日本で働くに当たって発生する事務手続き等をスムーズにするための企業と行政、地域団体との連携を強化する
- ・国籍を問わない出会いの場等の提供を通じた多文化婚の推進による相互理解の促進



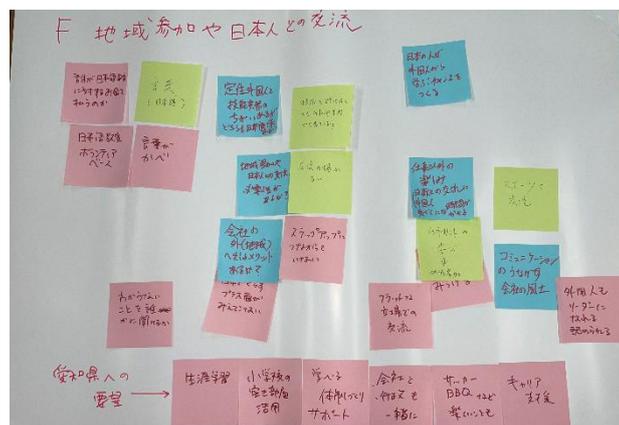


Eグループ: 企業や日本人への意識啓発

- ・子どもから学校等で多文化共生理解教育を実施
- ・お互いの文化についてコミュニケーションをとり、理解を深め合うための日本語教育
- ・日本人と外国人がコミュニケーションを取れる環境を作ること、両者が対等に話せるようにする
- ・外国人が主役になれる場づくり
- ・日頃から外国人の方とつながりのある人や理解のある人など橋渡し役を養成する

Fグループ: 地域参加や日本人との交流

- ・行政が企業等を巻き込んで、小学校の空き教室等を活用した地域での多文化共生に関する生涯学習などを企画し、実施する
- ・外国人のリーダーになれるような地域での関係性を作るための取組
- ・学べる体制づくりのサポート
- ・サッカーやBBQなど楽しい交流を通じて仕事以外の楽しみを地域の中で見つけてもらうような取組を行う
- ・地域参加の重要性を周知し、参加を促す



アンケート結果(一部抜粋)

※回答数 25 名

1 このタウンミーティングを何で知りましたか。

チラシ	2
県のホームページ	5
知人からの紹介	7
その他	11
無回答	0

【その他】県からのメール、会長のお誘いを受けて、国際交流協会からの案内

2 事例報告はいかがでしたか。感想をお聞かせください。(一つ選択)

とてもよかった	15
よかった	7
ふつう	1
よくなかった	0
全くよくなかった	0
その他	1
無回答	1

【その他】よくわからない

感想の理由をお聞かせください。

- ・企業で実際に取り組んでいる人の話が聞けて参考になった。
- ・苦労された事例も併せてご紹介があり、リアル感ある実践的なご報告でとても参考になった。
- ・2人とも好感もてる方で、話も具体的で聞きやすかった。こちらに伝わって欲しいという想いが話にあらわれていて、自分に何ができるんだろうと考えるきっかけになった。
- ・事例や困り事が理解できたため。
- ・普段企業の取り組みを聞くことができないので、とても勉強になった。楽しみながら日本語を学ぶことや、外国人の自身の文化を尊重する大切さが分かった。
- ・2件ともたいへん具体的でわかりやすい内容だった。
- ・外国人への支援、多文化共生の取組が参考になった。
- ・実践されている事例を聞かせていただき、大変新鮮な学びをすることができた。私自身、教育学の研究をしていますが、学校教育の中にいる者は、内側しか見えていない場合が多い。そのため、外部の事例は大変刺激となる。多文化共生は、教育現場からも大きく変えていかなければならないため、この学びを活かしていきたい。
- ・タウンミーティングは報告会ですか？愛知県の見せたい成功事例を見せたいのか？
- ・協栄産業様の事例紹介に感動した。こうした素敵な企業様が増えればいいなと思った。
- ・企業のトップの考えが重要だと感じた。
- ・愛商連さんの組合さんからの立場の話、自分の体験、とても参考になった。自分の会社の話を聞いて、深く考えることが出来た。
- ・実際に技能実習生や外国にルーツを持つ方が、働かれている会社での日本語サポートであったり、より良い職場環境をつくりあげていくための年間の行事であったりを知る事ができてよかった。とにかく素晴らしいプレゼンテーションだった。とてもパワフルで元気な方、という印象が残った。もっと話が聞きたかった。どんな活動をされているのかを知ることができ、スタッフが一生懸命サポートをしているのが伝わった。

- ・協栄産業会長とのお話楽しかった。
- ・外国人と一緒に会社の成長を考えていく、1人の人として、働く同志として、頼り、頼られる組織の事例、大変勉強になった。
- ・会社では、外国人の方と関わる機会が多いが、日頃から深く考えることがなく、とても貴重なお話をきくことができた。
- ・外国人が働く現場の実例を知ることができて良かった。どちらも日本語教育を大事にしているのが印象的だった。文化を言語、コミュニケーションが通じた後に、違いを理解してもらうという形は、重要だと思った。

3 後半のワークショップはいかがでしたか。感想をお聞かせください。(一つ選択)

とてもよかった	17
よかった	5
ふつう	0
よくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	3

感想の理由をお聞かせください。

楽しかった	14
つまらなかった	0
活動を進める上での参考になった	8
新しい内容を聴くことができた	13
聞いた事がある話ばかりだった	0
多文化共生社会づくりに興味がわいた	6
人脈を広げることができた	1
多文化共生社会づくりのヒントを見つけることができた	11
その他	5
無回答	2

【その他】

- ・視野が広がった。意見が交換できた。テーマがざっくりしていて、結論が同じところに行きつくように感じた。
- ・父が働いている会社の話を少し詳しく聞くことができ、嬉しかった。このような場でお会い出来たことも嬉しかった。この機会を頂き、ありがとうございます。
- ・ディスカッションをすることで、多くのそれぞれの観点から見えている物を出すことができ、とても有意義なワークショップだった。

4 本日の内容や、愛知県の今後の施策等について、何か御意見があれば教えてください。

- ・留学生の就職支援を担当している。県のインターンシップ等で大変お世話になっています。多文化共生プランの中に、留学生に関する視点を是非入れていただきたいと思っている。(また、大学の「異文化コミュニケーション」という授業では、毎年、県の取り組みを紹介し、日本人学生にも県の状況(日本で2番目に在留外国人が多いこと)を知ってもらっています。)次のプランも楽しみにしています。
- ・縦割りになっている外国人政策を地域の日線をつなぐ取り組みを期待します。
- ・意見に人を思いやる気持ちがあるのがあふれていたのが、感動した。より良い未来が愛知県民に訪れますように。
- ・土日で開催していただくと助かります。
- ・本日のタウンミーティングのフィードバックをメール等でいただくと助かります。(各グループの発表用紙など)
- ・市、国際支援団体、企業、県の連携を強めていただき、入国後、迅速な支援ができるようにしていただければいいと感じた。
- ・日本語教育を国語教育のかわりに学校教育に位置づけることを将来的には行うべきと考えます。
- ・愛知県は先進的に国のモデルケースとして推進してほしい。
- ・小学校、中学校、高校における道徳教育の抜本的改善。⇒多文化共生のみならず、日本人と日本人においても「対等性」がまだ足りていないため、多文化共生社会が定着していないと感じる。そこで、「対等に対話ができる」態度&価値観の教育を改善していきたい。
- ・本日は、外国人(特に英語のスピーカー)の保育研修についてお尋ねしたかった。インドカレー屋等外国人レストランは衛生講習を受けられますが、外国人で保育に関わる外国人は日本語の能力を必要としませんが、研修が日本語です。関連の大学機関と改善して欲しい。
- ・ワークショップはとてもいいと思った。グループには、スタッフがファシリテーターやタイムキーパーとして入ってもいいのでは、と思った。(よく話す人とそうでない人に分かれていたので)
- ・多様な意見交換ができてよかった。
- ・県からフォローの方を派遣してほしい。
- ・日本語の勉強の機会。
- ・外国人と日本人の結婚相談所、お見合いイベント、マッチングアプリなどあれば面白くなると思った。
- ・学校(保育園～大学)での外国人生徒への支援と共生への多文化共生への理解促進をしてほしいと思った。
- ・本日のテーマは、まさしく自分が話したいテーマであったので、みなさんの意見も聞くことができ、さらにどうしていけばいいのか、新たなアイデアも出てきた。
- ・県・市役所—例えば実習生を受け入れる企業—国際交流協会が連携し、オリエンテーションなり日本語教室や学習支援などと結びつけることができると、より良いサポートになると思う。
- ・企業、学校、地域で多文化共生をコーディネートする人材がいれば良いと思う。
- ・行政は、地域と企業をつなげる存在になったり、支援する役割を果たすべきではないかと思った。